



須坂市立小山小学校だより

栃の子だより

平成 27 年 9 月 11 日

No.7

文責：寺島 寿一

あいさつ いのち うんどう・うたごえ えがお おもいやり

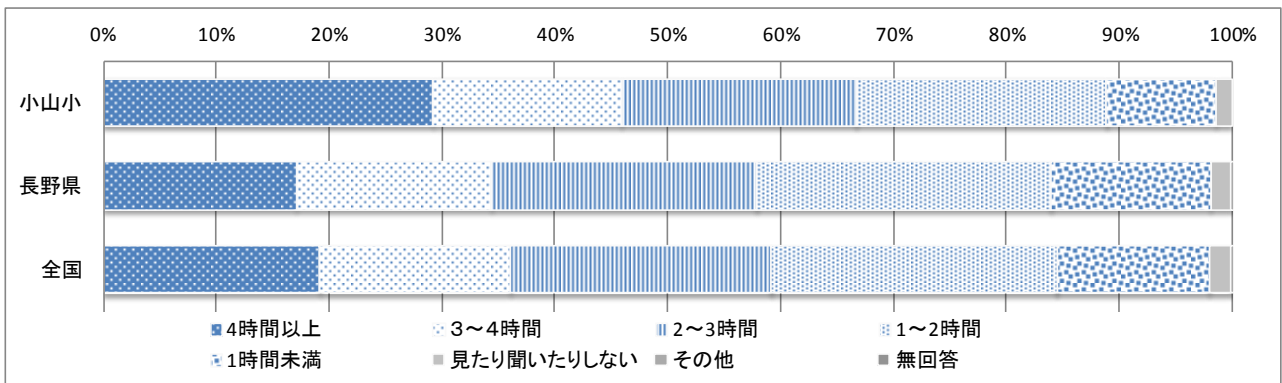
全国学力・学習状況調査からみる小山小学校の子どもたちの学習状況

4月21日に行われた平成27年度全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。小山小学校では、その結果を受け学力向上に向けた授業改善や家庭学習のあり方について、取り組んでいきたいと思っております。学力の状況については考察を加え、今後お知らせしていきますので、ここでは学習状況の結果についてお知らせします。

全県・全国と比較して、小山小学校の6年生に特徴が見られたのは、次のようなものであります。

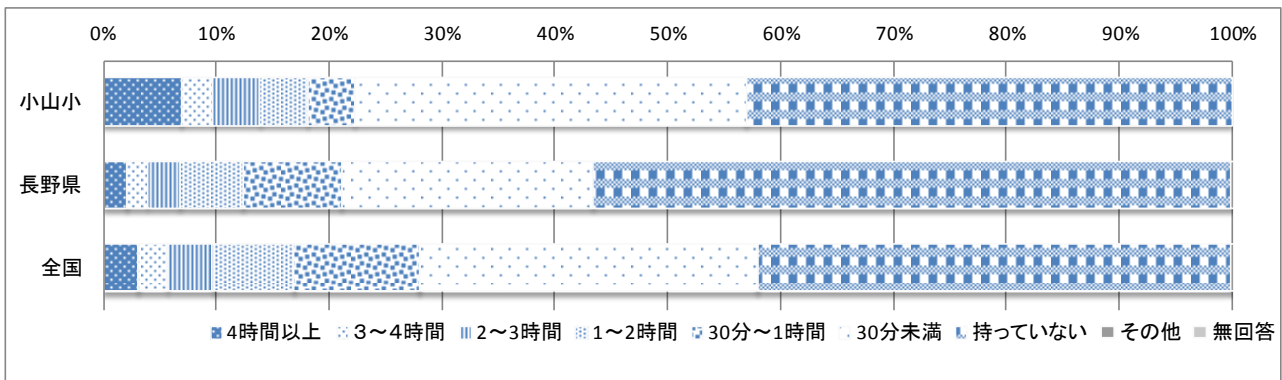
10 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間は除く)

選択肢	4時間以上	3～4時間	2～3時間	1～2時間	1時間未満	見たり聞いたりしない			その他	無回答
小山小	29.2	16.7	20.8	22.2	9.7	1.4			0	0
長野県	17.1	17.3	23.5	26.1	14.1	1.8			0.1	0
全国	19.2	16.9	23.1	25.3	13.5	1.9			0.1	0



12 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)

選択肢	4時間以上	3～4時間	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満	持っていない		その他	無回答
小山小	6.9	2.8	4.2	4.2	4.2	34.7	43.1		0	0
長野県	2.1	1.8	2.9	5.6	8.7	22.3	56.5		0.1	0
全国	3.1	2.6	4.1	7.1	11.1	30	42		0.1	0

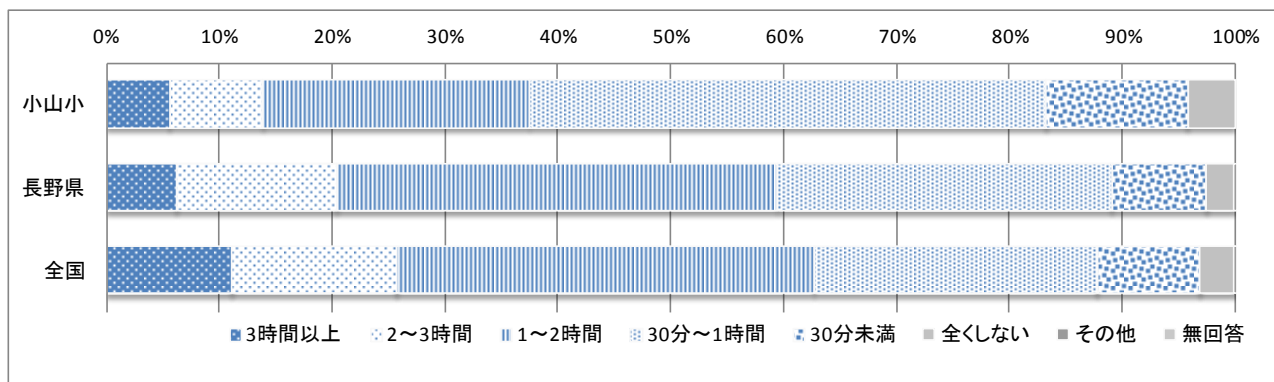


月～金曜日の1日当たりのテレビやビデオ・DVDの視聴時間が4時間以上の子どもたちの割合が、全県及び全国の6年生より10%以上も高い状況です。また、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が4時間以上の子どもたちの割合も全県・全国の6年生の2～3倍となっています。さらに、携帯電話・スマホ非所持率は全国並みであり、全県より10%以上低いことがわかります。

これらのことから、小山小学校の子どもたちは、テレビやビデオ・DVD、携帯電話やスマートフォンと関わる時間がかかなり多いと言えます。いずれも家庭で過ごす時間として保護者の皆様にもぜひこうした実態を承知していただき、読書や家庭での談話・団らんといった時間を増やしたり、携帯電話やスマートフォンの時間について家庭内の約束を確認したりしてほしいと思います。

13 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)

選択肢	3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満	全くしない			その他	無回答
小山小	5.6	8.3	23.6	45.8	12.5	4.2			0	0
長野県	6.2	14.2	39	29.6	8.4	2.4			0.1	0
全国	11.1	14.6	37	25.1	9.1	3			0.1	0

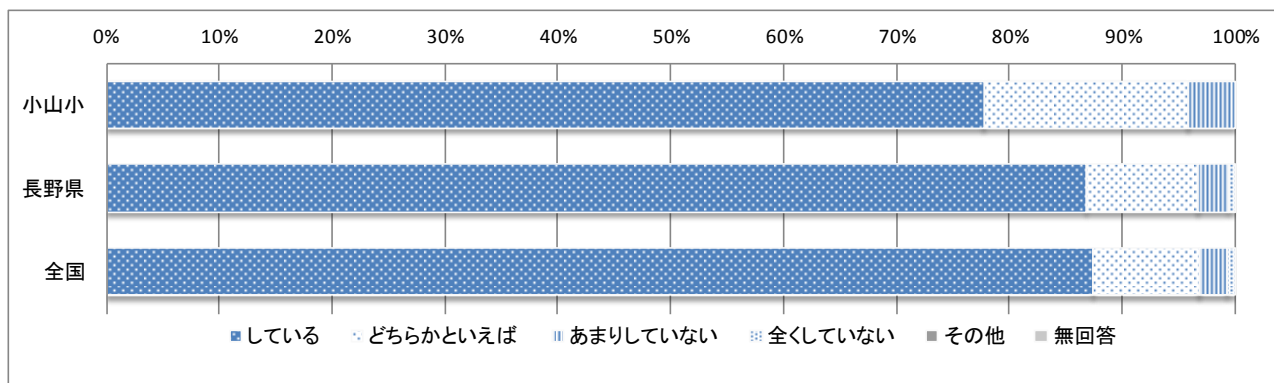


一方、学校以外の学習時間については、「30分～1時間未満」が一番多い状況です。全県・全国で「1時間以上勉強している」6年生の割合が60%いるのに対して、小山小学校で「1時間以上勉強している」6年生の割合は40%に達していません。

テレビやビデオ・DVD、携帯電話やスマートフォンと関わる時間を少しでも学習時間に振り分けるだけでも、大きく違ってくると思います。学校においても、子どもたちの学習時間が1時間以上になるような課題の与え方が必要と考えます。

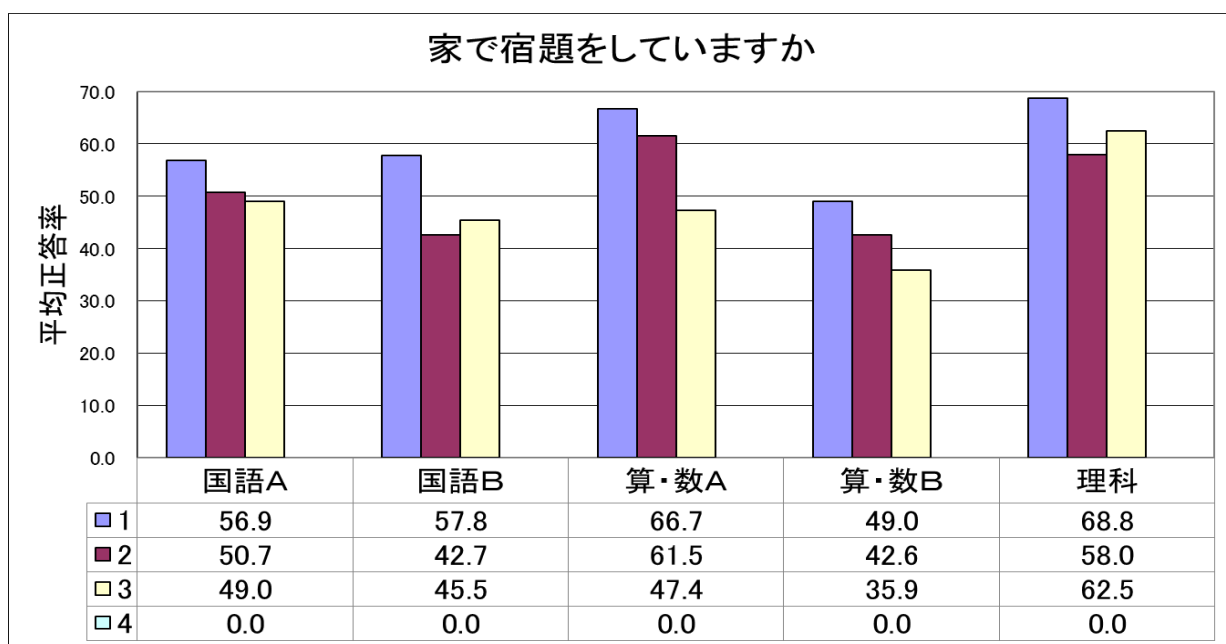
21 家で、学校の宿題をしていますか

選択肢	している	どちらかといえば	あまりしていない	全くしていない					その他	無回答
小山小	77.8	18.1	4.2	0					0	0
長野県	86.7	9.9	2.7	0.6					0	0
全国	87.4	9.4	2.5	0.7					0	0



また、宿題についても小山小学校で「している」と答えた6年生の割合が、全県・全国と比較して10%低くなっているのが気になります。学力調査と学習状況調査とのクロス集計をしてみると、「家で宿題をしていますか」については、以下のようなはっきりとした相関関係が出ていました。

国語A 国語B, 算数A 算数B, 理科のいずれも「宿題をしている」と答えた児童の平均正答率が一番高く、「どちらかといえばしている」「あまりしていない」の順に下がっていくことがわかります。特に、算数が顕著に出ています。宿題が、学力定着の大きな力となっているのです。まずは、この宿題をきちんとやる習慣を身につけていきたいものです。

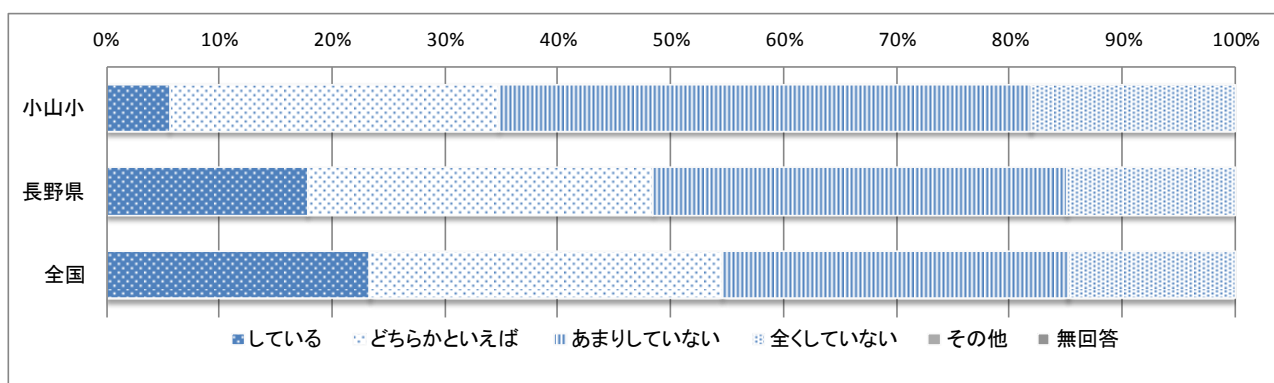


1:している 2:どちらかといえばしている 3:あまりしていない

宿題とは別に「学校の授業の復習をしていますか」については、以下のような結果でした。「している」と答えた6年生の割合が、大きく全県・全国を下回っていることがわかります。宿題は「やらなければならない」家庭学習ですが、復習は自主的な家庭学習です。宿題では、できるだけその日の授業を復習する内容を与えていますが、それ以外にも自主的に復習をしていくことが大切です。

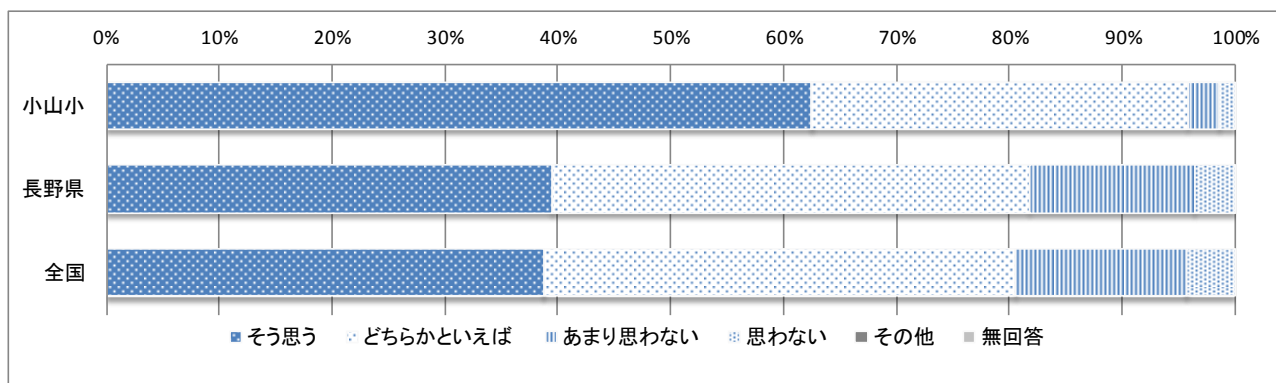
23 家で、学校の授業の復習をしていますか

選択肢	している	どちらかといえば	あまりしていない	全くしていない				その他	無回答
小山小	5.6	29.2	47.2	18.1				0	0
長野県	17.8	30.6	36.6	14.9				0	0
全国	23.3	31.2	30.6	14.8				0	0



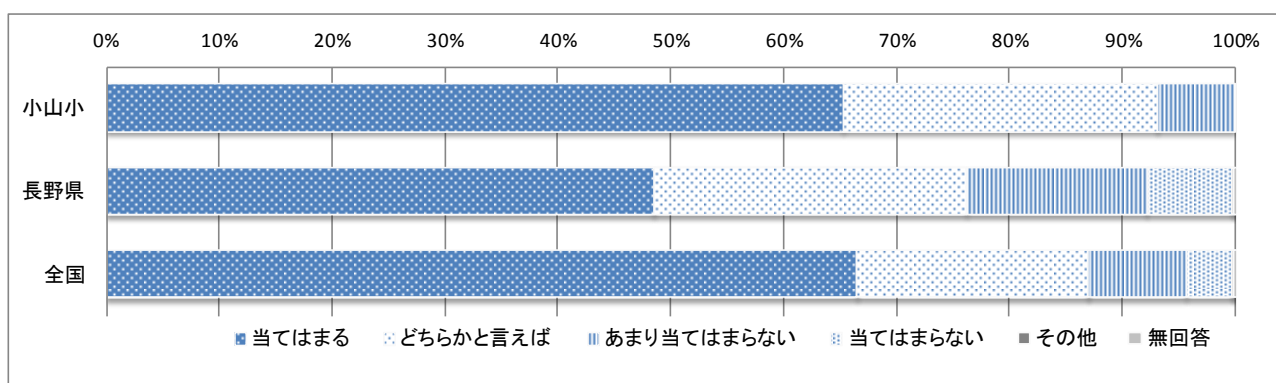
25 あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めていると思いますか

選択肢	そう思う	どちらかといえば	あまり思わない	思わない					その他	無回答
小山小	62.5	33.3	2.8	1.4					0	0
長野県	39.5	42.3	14.6	3.6					0	0
全国	38.7	41.8	15.1	4.3					0	0



43 5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか

選択肢	当てはまる	どちらかと言えば	あまり当てはまらない	当てはまらない					その他	無回答
小山小	65.3	27.8	6.9	0					0	0
長野県	48.6	27.7	16	7.6					0.1	0.1
全国	66.6	20.5	8.7	4.1					0.1	0.1



小山小学校のよさとしては、「友だち同士話し合って学級のきまりなどを決めていると思いますか」とか「ノートに学習の目標とまとめを書いていたと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」と答えた6年生の割合が60%を超え、全県を大きく上回ったり、全国と同等の状況であったりすることです。

こうしたよさを伸ばしながら、学級活動や授業の充実を図っていきたいと思います。

授業の充実	家庭学習の充実
<p>学校では、「ねらい」「メリハリ」「見とどけ」といった「授業がもっとよくなる3観点」に基づく授業を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ねらい」は、その1時間で身に付ける目標です。達成できたか振り返ることが大事です。 「メリハリ」は、自分の考えを書いたり、友だちの考えを聞いたりして、学習内容の理解を深めるため、様々な学習活動を行います。 「見とどけ」は、学習内容の定着を確かめるための練習や「まとめ」を自分なりの言葉で表現します。 	<ul style="list-style-type: none"> 「テレビを見ながら」「音楽を聞きながら」ではなく、家庭学習に集中できる環境づくりが大切です。そして、毎日決めた時間に机に向かいましょう。 宿題は、あくまで家庭学習の習慣づくりです。「漢字練習」「算数ドリル」など、積み重ねることで力がついていきます。さらに、自主的な復習や予習・興味のあることについて調べたり取り組んだりしていこう。